

令和元年第7回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和元年5月27日（月） 午前9時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 林 由美 三尾 和樹

事務職員 小関事務局長・小木曾教育次長（兼）学校教育課長・川合事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・小栗施設計画対策官・花田教育研修所長・河合幼児教育課長・西尾発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・太田阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・原文化振興課長（兼）市史編さん室長・青木中央公民館長・林鉦物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	議第15号	中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について	承 認
第2	議第16号	中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について	承 認
第3	議第17号	中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について	承 認
第4	議第18号	中津川市B＆G海洋センター運営協議会委員の委嘱等について	承 認
第5	議第19号	平成30年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について	承 認
第6	議第20号	令和元年度中津川市選奨生の決定について	承 認

■教育長 ただいまから令和元年第7回中津川市教育委員会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては回議といたします。

続きまして、日程第3、教育長報告をします。

前回の教育委員会以降の出席行事等を中心に報告いたします。

4月25、26日は東海北陸の教育長協議会に出席しました。連休中は、29日に富士見台高原・恵那山山開き式、5月3日に根ノ上高原つつじ祭り開会式に出席しました。7日は東濃地区教育長会、8日は市町村教育委員会連合会、10日は中部ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会、市PTA連合会会長会に出席しました。11日は恵那山ウェストン祭に参加、13日からは教育長訪問が始まり、第一中へ訪問しました。15日は市議会臨時会が開催され、議長、副議長、委員会委員等が選任されました。同日、市の奨学金の選考会が行われ、田島委員には委員長をお務めいただきました。選考につきましては後ほどの議題にあります。

17日にはサマー・サイエンス・スクールの募集依頼に、大垣のソフトピアジャパン、名古屋市、豊田市の教育委員会へ伺いました。今年度は、特別講義に株式会社ぐるなびの創業者でありCEOの滝久雄東京工業大学大学名誉博士を招き、理科の話だけではなく起業家として新しい価値を生み出した方の講義を聴く予定です。

23、24日は全国都市教育長会協議会が富山市にて開催され出席しました。26日は中津川リレーマラソン大会に出席し、教育委員会チームもエントリーしまして、学校のチーム、栄養士部会からも参加があり、会を盛り上げていただきました。

今後の主な予定です。6月4日から市議会定例会が始まります。教育長訪問につきましては、6日の第二中をはじめ順次行っていきます。

以上です。

次に事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をお願いします。小関事務局長、お願いします。

■事務局長 前回の教育委員会以降の出席の行事についてご報告します。

5月7日、市長の業務ヒアリングがあり川合次長と出席しました。令和元年度の教育委員会事務局の主要事業として、学校規模適正化推進事業、エアコン設置を含む学校施設営繕事業、学力向上支援事業、坂本こども園建設を中心とした幼児教育施設適正化推進事業、保育士確保・無償化対応などの幼児教育保育事業について説明を行いました。

10日はPTA連合会の会長会に出席しました。13日から小中学校の教育長訪問が始まり、13日は林委員にもご参加いただき第一中学校を訪問しました。ありがとうございました。14日から移動教育委員会が始まり、教育委員にもご出席い

いただきありがとうございました。１５日は名誉市民でありサマー・サイエンス・スクールの実行委員長でもある末松安晴先生と市長との面談がありましたので同席しました。また、来年度、岐阜県学校歯科保健研究大会が中津川市で行われることから、県歯科医師会から学校歯科保健推進地域の指定書と助成金５万円の授与がありましたので同席しました。夜はＰＴＡ連合会の評議員会に出席しました。１７日は教頭会が開かれました。２２日は「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞を第二中学校が受賞しましたので、同時に表彰を受けた加子母の読書ボランティアグループの「ひなたぼっこ」と一緒に受賞の報告を市長に行いました。

今後の主な予定です。５月２８日、６月６日、１８日、２０日、２４日に小中学校への教育長訪問がありますので出席したいと思っています。ご都合がつく日がありましたら委員もご参加をよろしくお願いいたします。５月３０日には坂本地区、阿木地区の移動教育委員会が行われますので、こちらもよろしくお願いいたします。６月４日から市議会定例会が始まり、１３日、１４日に一般質問、１９日に文教民生委員会、２１日に予算決算委員会が予定されております。１２日に校長会、１９日に教頭会が行われる予定です。

以上です。

■教育長 次に文化スポーツ部から報告をお願いします。池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。本日は部長が県庁に出張、次長が記者会見に出席しており私から報告します。

４月２４日、国際交流事業検討委員会が開催されました。同日、美術家協会総会が開催されました。２６日、姉妹都市友好推進協会の定時総会が開催されました。同日、遠山史料館友の会総会が開催されました。２７日、第４回中津川市長杯マレットゴルフ大会が蛭川地区の二小山マレットゴルフ場で開催されました。５月８日、公民館講座の受付を開始し、市内１３公民館で「地域の絆づくり講座」「健康づくり講座」「文化・教養講座」の合計１４５講座が予定されています。９日、Ｂ＆Ｇ財団から福岡Ｂ＆Ｇ海洋センターの修繕助成金の決定書授与式が行われました。助成金２７３０万円の交付決定をいただき、今回の補正予算に計上しています。１０日、中部ブロックＢ＆Ｇ地域海洋センター連絡協議会総会が恵那市で開催されました。１４日、こころのプロジェクト「夢の教室」が蛭川小と福岡小を皮切りに始まりました。本年度授業数は２６回です。１５日、市議会臨時会が開催されました。末松安晴先生が来庁され、市長と面談されました。子ども科学館にも足を運んでいただき、さまざまなアドバイスをいただきました。１７日、体育協会理事会が開催されました。１８日より前田青邨スケッチ展を苗木遠山史料館で６月３０日まで開

催します。１９日、「国際博物館の日」記念事業として、全博物館無料デーでした。同日、第３３回中津川市合唱祭が開催されました。２２日、子どもの読書活動に対する文部科学大臣表彰を受賞された、第二中学校と加子母図書ボランティア「ひなたぼっこ」が市長に受賞の喜びを報告されました。２４日、世界デュアスロン選手権で優勝された坂本地区の松葉桂二さんが市長に報告されました。２５日、藤村記念郷定時評議委員会が開催されました。２６日、第４回清流木曽川リレーマラソン大会が開催され、昨年より２５チーム多い２６０チームが参加され大変盛り上がり、教育委員会チームも大健闘しました。

今後の予定ですが、５月２７日、東京２０２０オリンピック聖火リレー岐阜県実行委員会が県庁で開催されています。同日、国際交流事業検討委員会が開催されます。２８日、文化協会総会が開催されます。２９日、青少年健全育成推進市民会議総会が開催されます。６月１日、坂下歌舞伎保存会の岐阜県伝統文化継承功績者顕彰受賞披露式が開催されます。１日、２日、明治座でクラシックコンサートが開催されます。４日、市議会６月定例会が開会されます。１５日、美術家協会オープニングパーティーが開催されます。１６日、市消防団操法大会が開催されます。同日、第１回可児徳杯小学生ドッジボール大会を開催します。

以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 リレーマラソンの教育委員会チームの成績を教えてください。

■教育次長 ハーフの部門の８１位です。同部門で何チーム参加されたかわかりませんが健闘しました。

■田島委員 お疲れ様でした。

■教育長 ほかに質問等ありますか。

田島委員。

■田島委員 文化スポーツ部の報告の第１回可児徳杯の説明をお願いします。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 NHK大河ドラマ「いだてん」が放映されていますが、苗木出身の可児徳さんが、マラソンでオリンピックに出られた主役の金栗四三さんの指導者をしています。可児徳さんはアメリカへ留学中にドッジボールと出会い、日本へ初めて伝えた方です。この辺りではドッジボールの小学生の大会がありませんので、可児徳さんを知っていただきながら開催する大会です。

■教育長 そのほかいかがでしょうか。

ないようですので、日程第４、議事に入ります。

議事日程第1議第15号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」提案説明をお願いします。

川合事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■事務局次長 それぞれの議案については担当課長から説明します。

■教育長 「1 中津川市認定こども園の設置等に関する条例の制定について」説明をお願いします。

河合幼児教育課長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 障がいをもつお子さんは受け入れる態勢になっていますか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 現在坂本保育園で受け入れていますが、これについては引き続き行います。

■教育長 ほかにありますか。

林委員。

■林委員 同じ施設で幼稚園と保育園それぞれの良さを生かした教育・保育をというのは具体的にどういうことですか。お子さんを育てる中で、どう違うのですか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 3つメリットとして挙げたところに集約するかと思います。

■教育長 林委員。

■林委員 私が子どもを育てていたとき、保育園は長い時間預かっていただけのりで働いているお母さんたちには助かる場所でありました。幼稚園は時間も決まっていてわりと早目に帰ってきますが、いろいろ教えていただけます。うちの子は幼稚園でしたが、漠然とそういう違いがあると思います。一緒になることの良さは、子どもというより親の仕事の形態によって、途中で替えることもできるというのが一つかなと思います。子どもさんが同じことを教えてもらえるつもりで入っていても、自分のやりたいことと違ふとかになりがちなのですか。幼稚園ではお歌とかカード

ゲームとかやりますよね。毎日、カードをやって字を覚えるのもプログラムの中で毎日やっていた気がします。保育園でもそういうことはほぼ一緒に保育時間だけ違うのか、同じ敷地で保育園のやり方はこっちで幼稚園はこっちということなのでしょうか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 3歳から5歳のお子様たちは、同じ環境の中で同じ幼児教育、保育一緒になったというイメージで過ごします。行事についても同じです。教え方というか、幼児教育という部分が入ってきます。保育のお子様たちも教育を受けます。同じ行事で過ごすことになります。

■林委員 保育時間だけ違うということですね。分かりました。ありがとうございます。

■教育長 教育長訪問で、幼稚園と保育園とそれぞれ訪問させていただくのですが、教育内容についてはほとんど差がありません。河合課長が話したように、教育としての側面がどちらも押し出されていて、違いがあるとすれば時間的なことだろうと思います。2時か3時ぐらいに幼稚園の子が帰っていきませんが、その後、保育園の子たちは、集団遊びや体を使った活動などをします。違いがあるとすればそこだろうと思います。

そのほかいかがですか。

田島委員。

■田島委員 坂本保育園と幼稚園が一緒になることで、それぞれの行事を吟味して統合して坂本こども園でやらなければいけないので、大変せめぎ合いが起きるような気がします。今は季節の行事を保育園、幼稚園、コンビニでしか触れることができないものになっています。できるだけ日本の季節の行事をチョイスしていただけると嬉しく思います。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 ありがとうございます。今月から坂本幼稚園と坂本保育園の園長、主任級の職員、幼児教育課の職員とで具体的な運営について話し合いを始めました。委員がおっしゃったような内容を踏まえた形で組み立てるように、私どもの方からも意見を述べたいと思います。

■教育長 そのほかいかがでしょうか。

ないようでしたら、「2 令和元年度中津川市補正予算について」説明をお願いします。8ページの歳出から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの補正予算の説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 8ページの寄付の件につきまして、南小学校、阿木小学校、第一中学校に図書購入ということで寄付をいただくのですが、子どもたちにはこういう説明をされるのでしょうか。

■教育長 小木曽教育次長。

■教育次長 子どもたちには司書から、お昼休みの放送や読み聞かせの折などに購入した本について紹介をしますし、保護者には学校だより等で周知を図ってまいります。

■教育長 そのほかありますか。

小栗委員。

■小栗委員 歳出②岐阜県のスクールサポートスタッフについて、上限があるのか、単年度だけなのか教えてください。

■教育長 小木曽教育次長。

■教育次長 教職員の事務負担のうちの軽微なものです。教頭、事務職員、教諭の行う印刷や採点、集計、配布といった事務負担をスクールサポートスタッフによって軽減を図っていくということです。3月分の勤務が次年度の収入になってしまいますので、2月までで一旦切らせていただきます。単年度の申し込みになります。次年度これが継続されるか分かりませんが、もし切られたとしても市で継続できないか今考えています。

■教育長 そのほかありますか。

三尾委員。

■三尾委員 歳入⑥B & G修繕助成金のことです。この2730万はB & G財団から補助していただけるのですか。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 B & G財団から交付いただきます。

■三尾委員 中津川市にはB & Gのものがいくつかあると思いますが、こういうことを計画しているから2730万円を申請して補助されたのか、それとも毎年、市に譲り渡してからずっと2730万円が補正されているのですか。年によって違うのか、大体決まっているのですか。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 アリーナとプールでそれぞれ上限3千万円の助成を受けますが、今回初めて福岡の体育館を改修するというので、昨年申請してヒア

リングを受けて認められたものです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 歳出②ですが、東小学校と西小学校で大変煩雑な事務のあるところ2校に2名ですが、ここだけではないと思います。働き方改革をしていけば、もっとできるのではないのでしょうか。たくさんのところにスクールサポートスタッフを配置できれば、かなりの先生方の負担が少なくなることは分かっていると思います。国の補助100%で時間は短いですが、2名は入れられるということです。市としても何時間でもいいのでたくさんの先生方へ補助を入れていくことを考え、準備できないものではないのでしょうか。

■教育長 小木曽教育次長。

■教育次長 単年の事業です。毎年続けられるか非常に疑問な点も多くあります。多く申し込んで一挙に切られた場合のことを考え、とりあえず2名を今一番必要なところに配置しました。ただし、補正予算が可決後の7月から2月までの任用ですので、学校にとって一番忙しい3月から5月にいないことを考えると、来年度、この事業を継続したとしても市で忙しい時期に雇用していきたいとも思っています。できれば国、県の動向を伺いながら拡大していきたいと考えています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 財政の厳しい中ですが、子どものためにできるだけ市の構想として、補助していただくように努力していただきたいと思います。お願いします。

■教育長 そのほかご意見等ありますか。

それでは、「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」1、2を通して、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

小栗委員。

■小栗委員 スクールサポートスタッフについて要望です。東小学校、西小学校にスタッフが入ることによってどこまでの効果が得られるかはやってみないと分からない部分があると思うのですが、人を入れることである程度先生たちの仕事は軽減されると思います。軽減されたときの時間をいかに使うかがとても大切です。とにかく忙しいときは時間もやりくりして使っていくものですが、時間があつたとき何かに活用するアクションを起こしていかないと、あまり進展もせず終わってしまうこともよくある話です。スタッフに入っていたいただいた後の先生たちの有効な時間の使い方をぜひ指導していただきたいと思います。

■教育長 小木曽教育次長。

■教育次長 できれば教職員の負担を軽減して子どもたちに対面できる、かかわり合える時間を多くしたいと思っています。現状東小学校、西小学校は、教頭、教務

あたりがさまざまな事務処理等に追われ、何かトラブルがあったときの対応に十分な力を発揮できていないと判断しています。また事務職員も36（サブロク）協定という超過勤務の上限を超しているような状況にありますので、現状では危機的な状況の回避といった段階で、委員のおっしゃるところまで至りません。まず危機的な状況を回避し、その後順次子どもたちに恩恵が回るように配置を考えていきたいと思います。

■教育長 そのほかよろしいでしょうか。

三尾委員。

■三尾委員 認定こども園とはこういうものだという何か一目で分かるものがあるかどうか教えてください。教育課程を考えたとき、幼稚園と保育所の性質は今まで違ってきました。文科省下にあるかないかとか、たとえば保育士は幼稚園の子を教えることができるのかとか、幼稚園の先生が保育園の子を教えることができるのかとか。それから、幼稚園に通わせるのですが、保育園と同じように遅くまで置いてほしいという保護者がいた場合、その子は保育園の子なのか。こども園とはこういうものかというものがありますか。

■教育長 河合幼児教育課長。

■幼児教育課長 現在内閣府が管轄しており、内閣府のホームページの認定こども園の部分については、委員のおっしゃったイメージのものがあります。一日の流れが一番分かりやすいかと思って今回資料としてお付けしました。近年は幼稚園教諭と保育士の資格を両方持っているものを採用しており、今おっしゃったように実の部分に伴っていないくて、実際に幼稚園と保育園で交流はまだなかなか行われておらず、教育というキーワードで進めていくのですが難しいところが正直あります。そういった部分の擦り合せを今行なっているところです。保育園は厚生労働省の管轄で監査等の提出書類がたくさんあります。幼稚園は文部科学省の管轄でそういった書類のボリュームは少なく、保育園の資料をベースに幼稚園のエッセンスを付け加えていく形でこども園の運営の設計をしているところです。ですので、まだこうなりますというところについては、職員も組み立てが必要だといったことで動いています。

■三尾委員 ありがとうございます。私自身勉強していかなければいけないと思いました。

■教育長 そのほかありますか。

ご異議がなければ、議第15号については承認ということでよろしいでしょうか。

議第15号「中津川市議会（定例会）に提出する議案の意見について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第16号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 私は社会教育委員をやらせていただいております、会議はすべて昼間でした。今回任命された方々の中にPTAの関係の方がおり、昼間は仕事をされているお父さんだと思います。市の職員や教員の方々の働き方改革の心配もあると思うのですが、こういった方は会議に出るために仕事を休まなければなりません。これを考慮して、年数回の会議のうちに夜に会議を設定することはできるのでしょうか。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 今は夜7時から行っており、昼間は行っておりません。

■田島委員 ありがとうございます。認識不足でした。夜にということで出やすい環境を作ってくださいありがとうございます。

あと、附属機関の委員に任命される方々は年齢が高い方がとても多いように思われます。これからの中津川を担う方々の意見を聴きながら進めていく会ということなので、若い人を取り入れていく工夫や努力をしてほしいと思うのですが、いかがでしょうか。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 高齢の方がやはり多いので、バランスも考えながら、来年任期が切れるときにまた考えていきたいと思えます。

■教育長 そのほかご質問、ご意見ありますか。

三尾委員。

■三尾委員 任期のことで質問ですが、たとえば給食の共同調理場の場長、運営委員に各校長先生方がなっていますが、任期が6月1日から5月31日とあります。教員の場合、4月に異動がありますので、校長が代わり2カ月ほどあるわけですが、任期が6月1日からになっているのは何か理由があるのでしょうか。

■教育長 小関事務局長。

■事務局長 大元は議案の基になっている「中津川市教育委員会附属機関の設置等

に関する条例施行規則」の中で任期は定まっています。6月1日となっているのは、これができる当時、平成10年ぐらいのことですが、市議会議員などいろいろな附属機関の委員になっていることがありました。今は議員がそういうところに入るのはあまり好ましくないということで、議員が附属機関の委員になることは少なくなってきました。議員は5月に臨時会を行なってそれぞれ役職が決まったり、所属する委員会が決まったりします。それを受けて委員の委嘱ができるようにということで、当時6月からの任期にした経緯があったと記憶しています。

■三尾委員 ありがとうございます。議員が含まれていないところがいくつかありますので、実用的かどうかを考えると、この任期はやや形式のようなところがあると思います。

■教育長 今後見直すためには条例改正が伴うということですね。

小関事務局長。

■事務局長 三尾委員からお話があったとおり、当時はそういった事情があったのですが、現在はそういった事情が少なくなってきましたので、任期の見直しについては検討したいと思います。

■教育長 そのほかありますか。

ご異議がなければ、議第16号については承認ということでよろしいでしょうか。

議第16号「中津川市教育委員会附属機関の委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第17号「中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について」説明をお願いします。

小木曾教育次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 10の渡邊章史教頭が小学校教頭会代表となっていて、11の坂本小学校の渡邊千夏教頭が中学校教頭会担当となっています。これでいいでしょうか。

それと、渡邊千夏教頭は小学校で間違いないのでしょうか。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 10の渡邊章史教頭は教頭の代表としてこの会に出席していただく立

場です。11の渡邊千夏教頭は特別支援のスペシャリストという立場での参加となっています。小学校で間違いございません。

■教育長 そのほかありますか。

田島委員。

■田島委員 7月と10月に2回の委員会があるということで、1人のお子さんについての流れといいますか、どういう形で決定するのか、また、戻れるのかということをお教えてください。

■教育長 小木曽教育次長。

■教育次長 7月の支援会議はほぼ継続のお子さん方の判定になります。現状でも特別支援学級または学校に在籍されているお子さんで、次年度も継続が望ましいと思われるお子さん、または次年度の4月よりは通常学級に戻った方がよいと思われるお子様についての判定を7月に行います。これまでの教育活動の中で教員側の見たいようす等を保護者にお伝えし、保護者と相談してこの判定会議に上げています。

10月の支援会議は、ほぼ新規のお子さんになります。多くは幼保からの新規、次年度の4月より新入学するお子さん、そして現状小中学校に在籍しているお子さんの中で通常から特別支援学級に行かれた方がいいと思われるお子さんについての判定になっています。幼保からの来年度の入学を控えて特別支援学級、学校等にお勧めする場合は、園の先生方からの申し出により、市教委の事務局職員も園まで足を運び観察します。また、発達支援センターやさまざまな機関とも連携しながら情報共有をして保護者にお勧めします。当然知的障がいの学級ですと発達検査を行なって客観的な資料をご準備いただかなければいけません。自閉・情緒障がい学級等の場合は医師の診断書が必要になります。そういった諸準備を事前に調べて10月の判定会に臨んでいます。

判定が下りた後、保護者に通知します。当然この会にかけることも保護者の御理解を得てかけておりますので、結果をまた戻した後、入られるか入られないかあくまで保護者の判断ということでお任せしています。それを受けて次年度の学級設置の申請を行うという形になっています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ありがとうございます。もし親御さんが納得できないことになって通常学級に入るとします。そうすると、通常学級に入っている、多分1人ではなかなかということで、補助の方がつくという形で進めていくのですか。

■教育長 小木曽教育次長。

■教育次長 なるべくそのようにしたいと思っておりますが、中津川市は御存じのとおり県内でもトップレベルの配置率を誇っておりますが、それでも支援の必要な

お子さんは非常に多くおりますし、特別支援学級に在籍していても、やはり個別に
つかなければいけないお子さんが大変多くおみえです。すべてのお子さんに十分な
配置ができていないという現状もありますが、少なくともそういった心配のあるお
子さんについては何らかの形で配置しています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ありがとうございます。理解できました。判定をしなければいけない
お子様が毎年増えてとてもたくさん的人数だと聞いています。この会議の仕方で一
人ずつ時間をかなりかけて判定していると聞いています。先生方には大変負担にな
ると思いますが、子どもたちのために頑張っておられるということに敬意を表し
たいと思います。

■教育長 そのほかありますか。

ご質問、ご異議がなければ、議第17号については承認ということでよろしいで
しょうか。

議第17号「中津川市教育支援委員会委員の委嘱等について」は、原案どおり承
認とします。

続きまして、議第18号「中津川市B＆G海洋センター運営協議会委員の委嘱等
について」提案説明をお願いします。

池戸生涯学習スポーツ課長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願い
します。

田島委員。

■田島委員 B＆Gの中でも中津川の福岡、付知、加子母は非常に評価がいいとい
う話を聞きましたので、池戸課長、ここで宣伝をお願いします。

■生涯学習スポーツ課長 ありがとうございます。今月B＆Gの運営評価を本部か
ら受けました。加子母と付知の評価は、特A、A、B、C、D、Eの6段階ある中
で8年連続特Aとなりました。福岡も特Aが5年連続です。

特Aは補助金の補助率は60％です。Aが50％で、B以下は0です。今回7
0％ですが、10％の上乗せの理由は、ミーティングルームを子どもたちの学習室
に改装して多機能化を行うと5％加算がつきます。また現在、中津川市長がB＆G
の副会長をやっており、B＆Gに関して理解があるのでいろいろな総会にも出席い
ただいています。先日も市長と教育長が恵那市で開催された中部ブロック総会に出

席いただいておりますが、市長、教育長が出席した場合は５％加算されますので、合わせて１０％です。理解のないところは加算が減りますので、うちの市長は協力くださっています。

■田島委員 大変成績がいいので嬉しく思います。これは利用率なのですか。

■教育長 池戸生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 利用率だけではなく、Ｂ＆Ｇ財団からこういうことをやってほしいという事業もあり、それをきっちり行っているかとか、指導員の配置や独自に事業にしっかり取り組んでいるかなどがあります。利用についてはそれぞれまちまちですが、付知、福岡では中学校併設なので体育館をしっかりと利用いただいていますし、加子母も学校にプールがないのでＢ＆Ｇのプールを使っていたということなので、利用率はいいと思います。

■教育長 そのほかありますか。

ご質問、ご意見、ご異議がなければ、議第１８号については承認ということでよろしいでしょうか。

議第１８号「中津川市Ｂ＆Ｇ海洋センター運営協議会委員の委嘱等について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第１９号「平成３０年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について」提案説明をお願いします。

川合事務局次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

これまで委員会の中で評価されてきていますので、教育委員会としてこの評価を承認いただけるということでよろしいでしょうか。

田島委員。

■田島委員 ２３ページの点検評価導入についてという項目があります。６番目に「報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました」とあり、この義務付けられ報告するものは、３０年度の４案件だけなのでしょうか。

■教育長 川合事務局次長。

■事務局次長 評価の対象となった案件としてはこの４案件を報告させていただきます。

■教育長 田島委員。

■田島委員 ４７ページからの２０年度から２９年度の事業の現状について、今年度、その内容と実績がきちんと書かれています。これは中津川市独自のやり方でしょうか。点検評価の課題だけを評価しなさいと申し付けられたと思うのですが、これは独自でやっているのですか。

■教育長 川合事務局次長。

■事務局次長 ４７ページから６０ページの一覧は、昨年度事務事業点検評価の報告についての議案を上げたときに、過去の点検した事務事業の追跡調査をしていますかという質問を確かいただいております、そのご質問に対して調査をして一覧表にまとめたものです。特にこれを強制されたことではなく、令和元年度の報告についてこのように追加資料を付けたということです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 非常に回りくどい言い方をしておりますが喜んでいきます。今まで１０年前から１１年この点検評価をされて、そのままというところもありましたが、こうやって１０年目でこれだけのことを追跡していただいたのは非常に有り難いことです。これからも振り返りながら進めていくと非常に価値のあるものになると思います。

■教育長 ほかにご質問、ご意見ございますか。

ご異議がなければ、議第１９号については承認ということでよろしいでしょうか。

議第１９号「平成３０年度中津川市教育委員会の事務事業点検評価報告書について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第２０号「令和元年度中津川市選奨生の決定について」提案説明をお願いします。

川合事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

小栗委員。

■小栗委員 田島委員におかれましては選考委員お疲れ様でした。ありがとうございました。これを選考するのは大変です。私も経験があります。今回の選考で委員長も務められて、そのときの話があればお聞かせいただきたいと思います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 小栗委員が経験された頃は書類を読み込むのが難しいときだったと思います。だんだん改善されて書類を読むのは大変簡単になりました。そして、もう一つ、個人の推薦文と校長先生の推薦文が本当に細かく丁寧に書いてあり、非常にエントリーした人の肖像が浮き上がってきて、委員の皆さんは本当に善意に解釈して、その人が良い教育環境を欲しているということを素直にとっていただいて、承認していくという形で進めていくことができました。初めてというのが3つ出てきました。一つは、通信制の高校に行っていた人が上の学校に行きたいという意欲で申し込んでくださったということです。これは本当に嬉しいことだと思いました。通信制というのは出席日数が関係ないので、やはりこの中には欠席・出席という欄があるのですが、そういうことは考慮なくて、通信制で頑張ってきて上の学校に行きたいという意欲があるということで通させていただきました。

また、大学を出て社会人になって、もしくは高校を出て社会人になって5年以上経過している人が、自分の夢に対して進みたいということで、また学校に入り直してある資格を取ってまた夢に向かっていきたいと思われた方が2人もおりました。成績の保存期間を過ぎてしまっていますが、申請されたという意欲に対して通すことができました。

所得に関することで、申請されて校長先生も本当に一生懸命推薦して書いてくださった書類もあったのですが、所得に関しては、募集要項ではなかなか理解できない、普通の父母では難しいのではないかという記載でしたので、これを計算してうちは所得が多いからできないとは思わなくてエントリーされたのだと思います。先ほど委員の意見もありましたように、募集要項をもう少し丁寧に作ってお示しできたらいいと思います。委員全員の意思です。会はスムーズに進行しました。

■教育長 そのほかご質問、ご意見ありますか。

ご異議がなければ、議第20号については原案どおり承認ということでよろしいでしょうか。

議第20号「令和元年度中津川市選奨生の決定について」は、原案どおり承認とします。

これをもって、本日の議事は終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について報告してください。

川合事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は、令和元年6月26日水曜日13時30分から当会議室、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。よろしくお願いいたします。

■教育長 それでは、次回は令和元年6月26日水曜日13時30分からということですのでよろしくお願いします。

以上で、令和元年第7回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れ様でした。

【 閉 会（午前11時22分） 】